

# 洪水・土砂災害への備え

## 1 日ごろからの備えが大切です

平成7(1995)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、救助された人の約95%は自力または家族や隣人によって救助されています。大規模災害時には、行政などによる救助・救援「公助」には限界があり、自分自身の身は自分で守る「自助」や地域社会で協力し助け合う「共助」が重要となります。万一の災害に備え、日ごろから準備しておきましょう。

## 2 身の回りにおける危険を知りましょう



- ハザードマップなどを確認して、自宅や普段よく行く場所の周辺にある災害の危険性について知りましょう。

▶ ハザードマップは、P25~68をご覧ください。

## 3 避難所、避難経路を確認しましょう



- いざというときの避難所、避難経路を確認しましょう。災害の種類によっては使用できない避難所があるので注意しましょう。
- 避難経路にある危険箇所などにも注意しましょう。
- 緊急時の避難所や連絡方法などの決まりごとについて、家族と話し合ひましょう。

▶ 市が指定する避難所の一覧をP18~22に掲載しています。

## 4 地域の自主防災活動、避難訓練などに積極的に参加しましょう



- 地域で協力することで、被害を減らすことができます。
- いざというときにあわてないよう地域で開かれる避難訓練などに参加しましょう。

▶ 自主防災組織についてもっと知りたい方、ご相談がある方は、須賀川市市民安全課(TEL.0248-75-1111)へお問い合わせください。

## 5 非常用持ち出し品や非常用備蓄品を準備しましょう



- 災害が起こったときに支援物資が届くまでに数日かかることも珍しくありません。いざというときに備え、非常食などの備蓄や非常用持ち出し品の準備をしましょう。
- 非常用備蓄品は、日常生活で使った分を買い足す「ローリングストック法」がおすすめです。

▶ P69の非常用持ち出し品、非常用備蓄品点検リストを確認しましょう。

## 5 自宅の周りを確認しましょう

- 大雨や台風に向けて、自宅周辺に飛ばされたり倒れたりするものが無いか点検しましょう。
- 浸水が予想される地域では、土のうを準備しておきましょう。

### ベランダ

強風で飛ばれられそうなものが無いか確認しましょう。鉢植えや物干し竿は固定するか室内に移動しましょう。

### 屋根

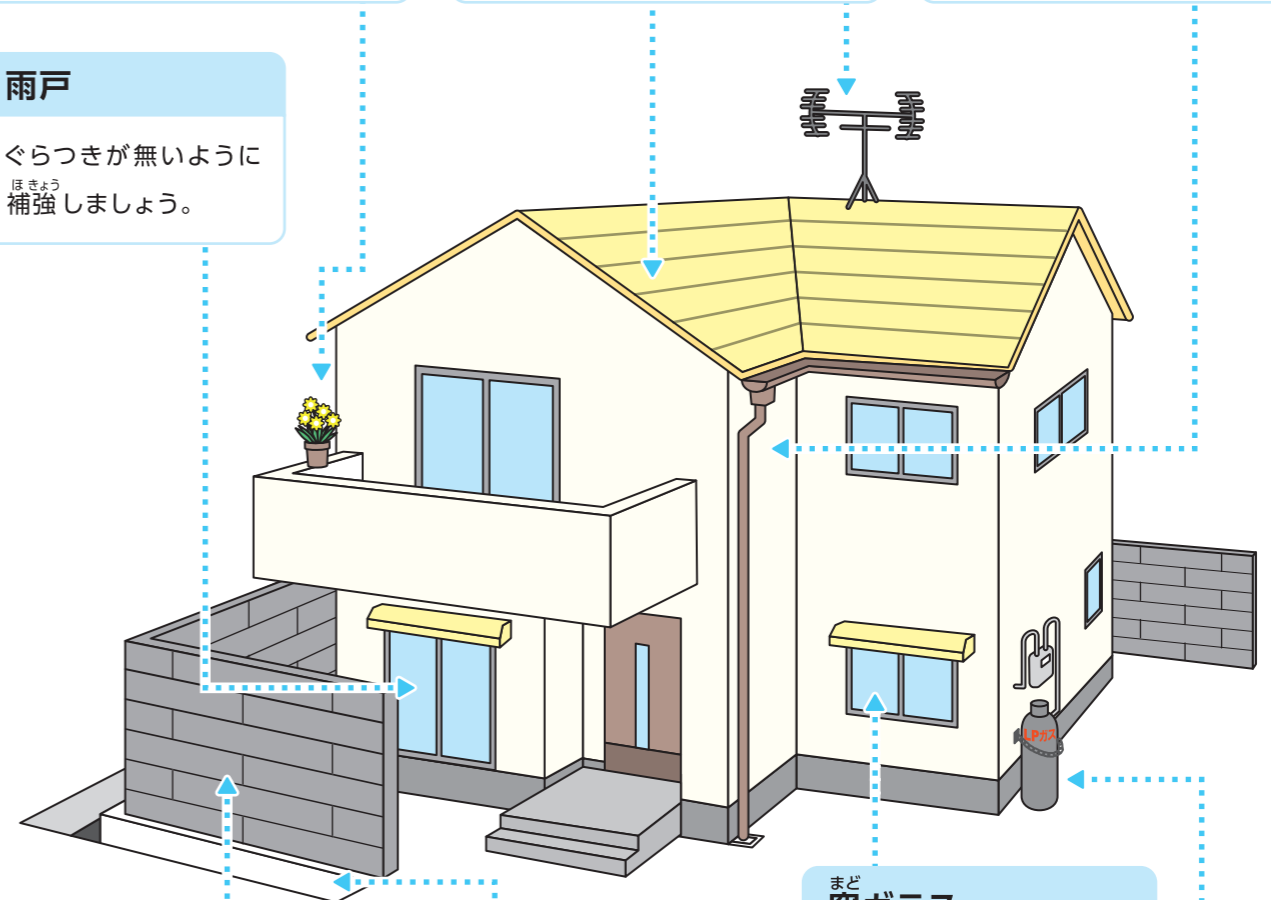
アンテナをしっかりと固定しましょう。瓦やトタン屋根の剥がれなどを補修しておきましょう。

### 雨樋

つなぎ目が外れていないか確認しましょう。土砂や落ち葉で詰まらせないように掃除をしておきましょう。

### 雨戸

ぐらつきが無いように補強しましょう。



### 窓ガラス

ひび割れ破損、ぐらつきが無いか確認しましょう。

### へい 塀

破損などは補強しておきましょう。

### そっこう 側溝

水が流れやすいように掃除をしておきましょう。

### 屋外の設置物

プロパンガスのボンベはしっかりと固定しましょう。

## 過去の災害を参考にしましょう

水害・土砂災害は地形と深い関係があるため、過去の被害状況が役立ちます。近隣に昔から住んでいる方に聞いてみるなど、過去にあった被害の情報を参考に災害に備えましょう。(P1もご覧ください。)